

10月1日(土)

13時30分～17時(13時20分開場)

会場: 港区立産業振興センター

ホール小 TEL:03-3578-2558

東京都港区芝 5-36-4 札の辻スクエア 11階

【アクセス】JR 田町駅から徒歩4分、都営三田線三田駅から徒歩2分



第35回学習会

資料代500円

シリーズ 731部隊の細菌戦

3回目 1940年 衢州 細菌戦とその伝播



講師 奈須 重雄 さん(731部隊研究者)

1940年(昭和15年)10月4日午前、日本軍機が衢州上空に飛来し、小麦、大豆、粟、ふすま、布きれ、綿花などとともにペスト感染ノミを空中から撒布しました。10月10日以降、投下物のあった地域で病死者が出始め、同じころからネズミの死体が続々と発見されるようになりました。11月12日にペスト患者が初めて確認され、投下物のあった地域においてペスト患者が多発しました。

衢州で11月12日以降に発生したペストは、日本軍機が投下したペスト感染ノミがネズミにペストを流行させ、これがヒトに感染したものと考えるのが合理的です。

1940年(昭和15年)末までに当局に報告されたペストによる死者は24人でした。しかし、ペスト患者は、家族がこれを秘匿したり、隔離されることなどを恐れて逃亡するようなこともあって、病死者の実数はこれを上回るものとみられます。

1940年の衢州細菌戦のペストは市街地と周辺に拡大し、さらに義烏、崇山村、塔下州、東陽へと伝播しました。各地の被害状況の確認と細菌戦の目的を考えます。

《今も政府が認めない731部隊とは?》

日本軍中枢は国際法を無視して細菌戦を構想した。1936年、細菌戦部隊の関東軍防疫部を設け、ハルビン郊外の平房に大規模な施設を建設。1940年、同施設を本部とする「関東軍防疫給水部」が設けられ、翌年から731部隊と呼ばれた。

731部隊では、細菌兵器の開発・製造のため、3千人を超える中国人・韓国人・ロシア人などが敗戦までに虐殺された。他方、細菌作戦は、1940年から1942年まで中国の浙江省や湖南省などで実施されペストやコレラを大流行させ少なくとも3万人を虐殺。1944年以降、731部隊は米軍へも細菌戦の発動を準備していた。

731部隊問題関連裁判の裁判日程

傍聴をお願いします!

- ・化学学校記事情報公開裁判【東京地裁民事第3部】 7月6日(水)11時(703号法廷)
- ・衛生学校記事情報公開裁判【東京地裁民事第51部】 7月19日(火)13時30分(103号法廷)

主催:NPO法人 731部隊・細菌戦資料センター

2022.06.20

共同代表 近藤昭二 [ジャーナリスト]・王選 [細菌戦犠牲者遺族、上海交通大学客員教授]・奈須重雄[731部隊研究者]

◆お問い合わせ: 一瀬法律事務所: 東京都港区西新橋1-21-5/ Email: info@ichinoselaw.com 担当元永(もとなが)

Tel:03-3501-5558 Fax:03-3501-5565 /◆ Website: http://www.anti731saikinsen.net/